

# 6

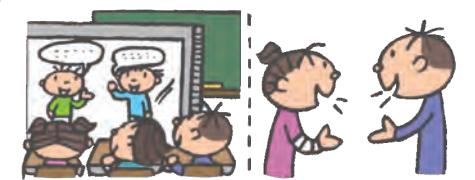
# 学年別の特色

## 3, 4年生

外国語活動

3, 4年生での慣れ親しむ活動から緩やかに知識・技能の定着を目指す活動に移行します。

- 聞く、話す活動を中心に思考・判断・表現しながらたくさんの新しい語句や表現を学びます。
- 書くことについては、アルファベットの活字体が書けるようになることをねらいとしています。
- 読むことについては、アルファベットの識別や名前読みができるようになることをねらいとしています。
- 題材は主に自分の身近なことや知っていることを英語で表現する内容を取り扱っています。
  - ・身近な内容について自分を話したり、相手にたずねたりする
  - ・第三者のことについて言う
  - ・外国に行くことをイメージし、したいことを言うなど



## 5年生

- 既習表現+新出語句・表現で、聞く、話す内容の幅を広げます。
- 書くことについては、文を書くことで、語順や文構造に気づくことをねらいとしています。
- 読むことについては、音声を聞きながら文字を追うなどの活動を通して、文字を意識的に目に入れ、既習の語句や表現に再度出会った際にその意味がわかるなどをねらいとしています。
- 題材は主に身の回りのことをもう少し詳しく調べたり、身の回りから少し離れたことを知ったり考えたりしながら学習する内容を取り扱っています。

## 6年生

中学校とのギャップを埋める活動を経ています。

- ・外国人に向けて紹介したいことや発信したいことを考える
- ・自分の生活に関連して、日常の会話で使いたい表現を学ぶ
- ・自分のこれからについて考えるなど



## 中学1年生

小学校で、基礎的な知識や技能、思考力・判断力・表現力を身につけているため、中学校でも英語の学習に戸惑いがなくなります。また、文字にたくさん触れ、語順や文構造に気づく活動を経ているため、文字があふれる中学校教科書とのギャップや文構造を学ぶことへのギャップなく移行できます。